

生きもののシンフォニー

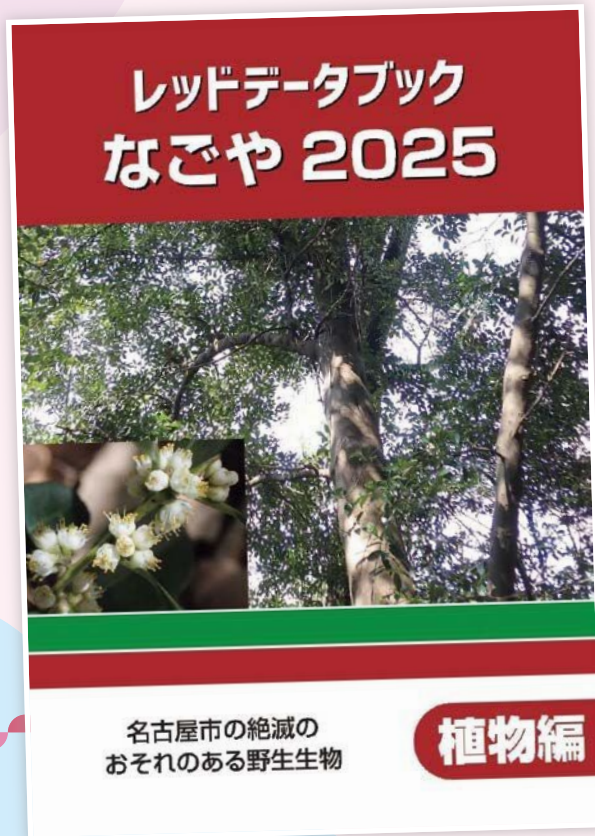
いのちがやくなごや

令和7年3月
45号

特集

名古屋市版レッドリスト2025・ レッドデータブックなごや2025

令和7年4月（予定）に、名古屋市版レッドリスト2025・レッドデータブックなごや2025を公表します。



CONTENTS

特集

名古屋市版レッドリスト2025・ レッドデータブックなごや2025

- TOPICS 水広下池の池干し P3
- 生物多様性カフェ・森林保全体験を通して生物多様性を学ぶバスツアー P4
- 令和6年度 主な行事等の実績・なごや生きものの報告会案内 P5
- 活動紹介 日本ワシタカ研究センター P6
- 掲 示 板 機関誌「なごやの生物多様性」第12巻を発行しました P6



名古屋市版レッドリスト2025・ レッドデータブックなごや2025

レッドリストとは

絶滅のおそれのある野生生物をまとめたリストです。絶滅の危険性の程度に応じてカテゴリー（ランク）ごとに種名を掲載しています。

レッドデータブックとは

レッドリストに掲載された種ごとに生息・生育状況や特徴などを解説してまとめたものです。国（環境省）や都道府県・市町村などでも作成されています。日本全体でみれば絶滅のおそれのない生きものでも、名古屋市だけで見ると危機的な状況にある場合もあります。

名古屋市版レッドリスト・レッドデータブックなごやの歩み

時 期	内 容
2002年11月	「名古屋市版レッドリスト」の公表
2004年 3月	「レッドデータブックなごや2004動物編・植物編」の公表
2010年 3月	「名古屋市レッドリスト2010」の公表
2010年10月	「レッドデータブックなごや2010 2004年版補遺」の公表
2015年 3月	「名古屋市版レッドリスト2015」の公表
2015年 4月	「レッドデータブックなごや2015動物編・植物編」の公表
2020年 3月	「名古屋市版レッドリスト2020」の公表
2025年 4月 (予定)	「名古屋市版レッドリスト2025」の公表 「レッドデータブックなごや2025動物編・植物編」の公表

「名古屋市版レッドリスト」掲載種数の推移

カテゴリー（ランク）	説 明	動物・植物			
		2010	2015	2020	2025
絶滅（EX）	名古屋市ではすでに絶滅したと考えられる種	96種	101種	115種	119種
絶滅のおそれのある種 （絶滅危惧種）	絶滅危惧IA類（CR）	91種	124種	133種	135種
	絶滅危惧IB類（EN）	95種	115種	120種	145種
	絶滅危惧II類（VU）	159種	150種	160種	196種
準絶滅危惧（NT）		136種	177種	185種	179種
情報不足（DD）	評価するための情報が不足している種	－	40種	40種	41種
地域個体群（LP）	名古屋市内で遺伝的に特徴があり保全が必要な個体群	－	－	1種	1種

「名古屋市版レッドリスト2020」と比べると、「名古屋市版レッドリスト2025」では絶滅のおそれのある種が63種増えています。これらの生きものを守ることに加えて、新たに身近な生きものがレッドリストに掲載されることのないよう、自然を守っていくことが大切です。



サワガニ



マメナシ



ハッチョウトンボ

より詳しく知りたい方へ

（名古屋市公式ウェブサイト「絶滅のおそれのある野生生物」）

過去の発行分を含め、「名古屋市版レッドリスト」・「レッドデータブックなごや」は名古屋市公式ウェブサイトで見学・ダウンロードすることができます。

過去に発行したレッドデータブックなごや2015は、市民情報センター、名古屋市立図書館、各区役所情報コーナー、環境学習センター（エコパなごや）、なごや生物多様性センターで見学することができます。レッドデータブックなごや2025についても準備ができ次第閲覧できる予定です。



みず ひろ げ いけ

水広下池の池干し



2024年11月10日に、水広公園内の水広下池（緑区）で池干しを実施しました。水広下池で堤防の耐震補強工事が予定されており、池の水を全て抜く必要が生じたことから、生きものの保護を目的として行ったものです。池干しには、なごや生物多様性保全活動協議会（なごビオ）会員、なごや生物多様性センター職員、緑土木事務所職員など約100人が参加しました。

参加者が地引網とタモ網、投網によって生きものを捕獲し、種ごとに容器に素早く丁寧に分けていきます。その結果、24種（うち、絶滅危惧種7種）、約32,400個体の生きものが確認されました。特に個体数が多かったスジエビ、モツゴ、タモロコはいずれも名古屋市の在来生物ですが、ミシシippアカミミガメやブルーギルといった外来生物も捕獲されました。また、事前調査では確認されなかった準絶滅危惧種のナマズが97個体捕獲されました。ナマズは水広下池において数少ない大型の肉食魚であるため、外来生物のアメリカザリガニを抑制していると考えられます。

さらにニホンウナギやウキゴリ、モクズガニなどは陸水域と海域を行き来する生きものであり、水広下池と海の間でも生きものの往来がある可能性があります。

捕獲した在来生物の一部は、なごや生物多様性センターで工事後の放流に向けて保護しています。また、その他の外来生物は、なごや生物多様性センターで適切に処分しました。

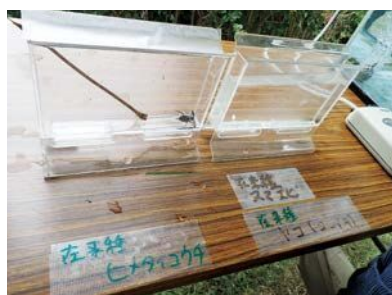
今後は池干しによる生きものの変遷を確認できるよう、モニタリング調査を実施していきます。



保護しているナマズ



種ごとに分けている様子



見学者向けに展示・解説も実施



地引網による捕獲の様子



捕獲した生きものをすばやくケースで保護する様子

池干し調査結果

和 名	個体数	備 考
ミシシippアカミミガメ	7	条件付特定外来生物
ウシガエル	1	特定外来生物
ニホンウナギ	1	池干し終了後に採集 絶滅危惧IB類
コイ（飼育型）	71	総重量98.52kg
ゲンゴロウブナ（ヘラブナ）	740	
モツゴ	※11,000	
タモロコ	※2,800	準絶滅危惧
ドジョウ	1	絶滅危惧II類
ナマズ	97	準絶滅危惧
カダヤシ	133	特定外来生物
ブルーギル	※440	特定外来生物
オオクチバス	1	特定外来生物
ヨシノボリ類	78	
ウキゴリ	10	準絶滅危惧
スジエビ	※15,000	
カワリヌマエビ属の一種	3	
アメリカザリガニ	2	条件付特定外来生物
モクズガニ	30	準絶滅危惧
コシアキトンボ	2	幼虫
オオヤマトンボ	2	幼虫
ウチワヤンマ	5	幼虫
ヒメタイコウチ	1	絶滅危惧II類
ヒメタニシ	※2,000	
シジミ属の一種	1	

※重量より採集概数を算出
絶滅危惧種については名古屋市版レッドリスト2020に準拠

生物多様性カフェ



生物多様性カフェとは、話題提供者と参加者が気軽に生物多様性について語り合うトークライブです。会場には飲み物やお菓子の持ち込みも大歓迎！生きものに詳しい人もそうでない人も、参加者同士が自由に交流できるのが魅力です♪令和6年度は学生団体「henka.」に所属する方々に話題を提供していただきました。



第42回「微生物の世界」(令和6年8月31日) 話題提供者：愛知教育大学1年生 小島久実さん

小島さんは、高校生時代に大好きな微生物「ボルボックス」に関する研究発表を行い、「自由すぎる研究EXPO2023」で金賞を受賞されています。微生物の調査をするために、必要な調査道具を身の回りの物で工夫して自作した話など、柔軟な発想と研究への熱意に、参加者からは驚きの声があがりました。微生物観察や、小島さんが試作中の教材「プランクトランプ」で微生物の絵柄を合わせる楽しいゲームを行うなど、微生物愛が伝わる2時間でした。

※協賛として、「伊勢茶mirume」さんに飲み物とお菓子をご提供いただきました。



マスクなどで
調査道具を自作する様子



プランクトランプ

第43回「セミを倒しにアメリカへ」(令和6年10月12日) 話題提供者：信州大学1年生 草野勇菜さん



アメリカ北部に生息する13年周期で地上に現れる「13年ゼミ」と、アメリカ南部の17年周期で地上に現れる「17年ゼミ」は、「素数ゼミ」と呼ばれています。2024年は、アメリカ・イリノイ州の一部で13年ゼミと17年ゼミが同時に発生し、221年ぶりの大量発生としてメディアでも大きく取り上げられました。その「素数ゼミ」を現地アメリカまで追いかけた草野さんに、ドキドキハラハラな旅のエピソードと、大好きな昆虫類の魅力について、語っていただきました。

◀セミを捕る様子を実演

第44回「そうだ カラス、見よう。」(令和7年3月1日) 話題提供者：宇都宮大学1年生 服部花菜さん

「ゴミを荒らすイメージを持たれたり、襲われそうで怖いと思われたり、何かと悪者にされがちなカラスですが、実はとっても面白いんです！」と語る、カラスが大好きな服部さん。

カラスの種類、生活環、舌や骨格の形態など様々な角度からマニアックな解説をしていただきました。手羽先などの身近な食材から骨格標本を作ったエピソードなど、詳しいレポートは「なごや生きものライブラリー」コラムで近日公開！お楽しみに♪



ハシブトガラスの幼鳥



カラスの頭骨標本

森林保全体験を通して生物多様性を学ぶバスツアー (令和6年10月27日)

森林環境譲与税※を財源とし、森林の保全・再生に向けた普及啓発の一環で、バスツアーを開催しました。小中学生とその保護者総勢32名で、名古屋市の水道の源でもある木曽川の支流、飛騨川の上流域にある「皇樹の杜」へ足を運び、林業見学や自然をテーマとした地元のイベントへ参加しました。

※森林環境税／森林環境譲与税：温室効果ガスの排出抑制や災害防止などを目的とした森林整備や、それを促す人材育成・普及啓発等に必要となる財源を安定的に確保するため、国民が等しく負担を分かち合っている仕組みとして創設されたもので、名古屋市にも令和元年度から譲与税が配分されています。



南ひだ森林組合による
林業機械のデモンストレーション



現地案内の「NPO法人森のなりわい研究所」
伊藤栄一さん

令和6年度 主な行事等の実績



センター …なごや生物多様性センター主催

なごびオ …なごや生物多様性保全活動協議会主催

【 】内は開催場所。開催場所の記載のない行事はなごや生物多様性センター

日付	名称【開催場所】	主催
令和6年	4月	出張展示「なごやの水辺の生きもの」【庄内緑地】
	4月～6月	出張展示「なごやの里山の生きもの」【戸田川緑地・西区役所（順次）】
	5月12日	なごや生きもの報告会【名古屋市立大学】 なごびオ
	5月25日	オオキンケイギク抜き取り会【天白区 植田川河川敷】 なごびオ
	6月8日	クビアカツヤカミキリ防除講習会【戸田川緑地】 センター
	6月22日	ちょっと早い夏の自由研究「動物の骨をつくろう」 センター
	7月14日	愛知サマーセミナー「標本を通じて学ぶ なごやの外来種問題」【東海中学校・高等学校】
	7月20日～31日	なごや生物多様性サマースクール2024（9講座）【各所】 なごびオ
	8月31日	第42回生物多様性カフェ「微小生物の世界」 センター
	9月14日	環境デーなごや2024へ出展「なごやの里山の生きもの」【久屋大通公園】
	9月29日～10月6日	なごや生きもの一斉調査2024～アメリカザリガニとエビ・カニ編～【22地点】 なごびオ
	10月12日	第43回生物多様性カフェ「セミを倒しにアメリカへ」 センター
	10月26日	外来スイレン除去【千種区 東山新池】 なごびオ
	10月27日	森林保全体験を通して生物多様性を学ぶバスツアー【下呂市】 センター
	11月9日	第9回なごや生物多様性センターまつり／ユースひろば センター
令和7年	11月10日	池干し【緑区 水広下池】 なごびオ
	11月19日・20日	自然系調査研究機関連絡会議（NORNAC）【神奈川県立生命の星・地球博物館】
	12月21日	冬の自由研究「動物の歯型をとろう!」 センター
令和7年	3月1日	第44回生物多様性カフェ「そうだから、見よう。」 センター
	3月23日	なごや希少種シンポジウム2025～レッドデータブックを改訂します～【鯉城ホール】 センター
	3月	機関誌「なごやの生物多様性」第12巻発行 センター
通 年		出前講座・見学対応等【各所】 センター
		外来種（アライグマ・クビアカツヤカミキリ等）防除【各所】 センター
		市民協働による調査保全活動【各所】 なごびオ
		植物標本作成講座【各所】 センター
		昆虫パラタクソノミスト養成講座 センター

「なごや生物多様性保全活動協議会 なごや生きもの報告会」



なごや生物多様性保全活動協議会の活動報告会を開催します。令和6年度の調査等で得られた情報をもとに、最新のなごやの生きものについてお伝えします。詳細はなごや生物多様性保全協議会公式ウェブサイトでご確認ください。

日時 令和7年5月11日（日）午後0時45分から4時45分

会場 名古屋市立大学 桜山キャンパス さくら講堂

定員 200名（先着）

なごや生物多様性保全活動協議会公式ウェブサイト イベントカレンダー▶
(<https://bdnagoya.jp/event-calendar>)



だなも
生物多様性
キャラクター
応援団



【44号の記載誤りについてのお詫びと訂正】

p.4下部 「ステージ発表しました。」内の発表校名に記載誤りがございました。

（正）愛知県立愛知総合工科高等学校 理工探究部 （誤）愛知県立瑞陵高等学校 理数科2年生「理数探究」

関係者の皆様には大変なご迷惑をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。



愛知県尾張旭市にある日本ワシタカ研究センター（www.jfcenter.org）はワシ、タカ、ハヤブサなどの猛禽類の保護活動を実践するために1982年に設立された民間の施設です。施設は一般公開していませんが、猛禽類の生息環境保全に関する調査、開発事業と希少種の保全を両立させる対策の提言、行政機関からの依頼に応じた傷病鳥の救護、傷病鳥の保護飼養や野生復帰に向けたリハビリテーションへの日本の伝統的な鷹狩技術の適用、国際自然保護連合（IUCN）などの国際機関や国内外の専門家と連携した希少種保護活動や研究の推進、行政機関で野生鳥獣保護業務を担当する職員向けの講習会の開催、生物多様性条約締約国会議などの国際会議や研究会での成果発表などに取り組んでいます。傷病鳥の救護活動は生物多様性の保全に関する取り組みの事例として2020年に「あいち・なごや生物多様性グッドプラクティス」に選ばれました。また、近年は猛禽類の自然史の解明や保全戦略の策定に役立つ基礎研究としてDNAバーコーディングや分子系統地理解析などを名古屋市立大学生物多様性研究センターと共同で実施し、成果は論文として発表されました^{1,2)}。

1) 横山悠理, 中島京也, 陸田径典, 熊澤慶伯. (2020) 名古屋周辺ワシタカ類のDNAバーコーディングと集団遺伝解析. なごやの生物多様性 7: 1-14.

2) Johnson J.A., Athrey G., Anderson C.M., Bell D.A., Dixon A., Kumazawa Y., Maechtle T., Meeks G.W., Mindell D., Nakajima K., Novak B., Talbot S., White C. and Zhan X. (2023) Whole genome survey reveals extensive variation in genetic diversity and inbreeding levels among Peregrine Falcon subspecies. *Ecology and Evolution* 13 (7) e10347.



各参考文献ダウンロード用▲

活動の
参考画像クマタカの
生息状況確認

クマタカ

完治したオオタカの
野生復帰ハヤブサの治療と
保護飼養移動性野生動物の
種の保全に関する
条約締約国会議での講演

掲示板

機関誌「なごやの生物多様性」第12巻を発行しました

なごや生物多様性センターでは、地域で実践されている調査・保全活動等で得られたなごやの生物多様性に関する情報を、正確に記録し広く発信するために機関誌を発行しています。

第12巻では、なごやに関わる生きものたちの話題など、原著論文をはじめ24報が掲載されています。ぜひご覧ください。機関誌は名古屋市公式ウェブサイトや名古屋市立図書館でご覧いただけます。


<https://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000103464.html>

名古屋市
公式ウェブサイト
機関誌
「なごやの生物多様性」

第13巻
投稿募集

2025年度に発行予定の第13巻の投稿を募集します。生物多様性に関わる活動を行っている市民、保全団体、専門家、学校、企業の方などなたでも幅広い分野から投稿できます。投稿規定や期限など、詳しくはウェブサイトをご覧ください。皆さまからの投稿をお待ちしています。

「市民生きもの調査員」に
登録しませんか？

生物調査や講習会、イベントなどの実施情報を直接メールでお届けします。どなたでも登録できます。詳しくは協議会ウェブサイトへ！

問い合わせ・申し込み先

発行：名古屋市環境局なごや生物多様性センター

住所 〒468-0066 名古屋市天白区元八事五丁目230番地

電話 052-831-8104(平日 8:45～17:30) FAX 052-839-1695

E-mail bdnagoya@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

なごや生きものライブラリー

なごや生きものライブラリー

検索

<https://ikimono.city.nagoya.jp/>


名古屋市公式ウェブサイト

<https://www.city.nagoya.jp/>

なごや生物多様性保全活動協議会

<https://bdnagoya.jp/>

地下鉄
塩釜口駅2番
または
3番出口から
徒歩5分

